

災害時における生徒の登下校について

暴風・大雨・大雪・地震等に備えて、名古屋市の通達をもとに生徒の安全を第一に考え、下記のような対応を取りましょう。

○「暴風警報」「暴風雪警報」発令の場合（「名古屋市」に発令）

登校前・在宅中	登校中	在校中	下校中
自宅待機	そのまま登校	安全確認後、下校	そのまま下校

○「避難指示」「特別警報」「緊急安全確保」発令時の対応について

登校前・在宅時	登校中	在校中	下校中
家庭での判断で速やかに安全な場所へ避難	そのまま登校し、学校待機。保護者引き取りで下校	学校待機。保護者引き取りで下校	そのまま下校し、家庭の判断で安全な場所へ避難

※ 保護者引き取りについては、可能な限り、「きずなネット」でお知らせします。

※ 大規模地震（震度5弱以上）発生の場合は本校HPの【名古屋市内で震度5弱以上の地震が発生した場合の対応】をご覧ください。

○「津波警報」「大津波警報」発令の場合

登校前・在宅時	登校中	在校中	下校中
家庭での判断で速やかに安全な場所へ避難	そのまま登校し、校舎3階および4階に避難して待機。その後、保護者引き取りで下校	校舎3階および4階へ避難して待機。その後、保護者引き取りで下校	そのまま下校し、家庭の判断で安全な場所へ避難

※ 保護者引き取りについては、可能な限り、「きずなネット」でお知らせします。

○各種警報の解除に伴う対応

状況	授業の実施・中止
午前6時までに解除されたとき	平常通り授業を実施
午前6時から午前11時までに解除されたとき	午後の授業を実施（昼食を家ですませて午後1時までに登校する）
午前11時を過ぎても解除されないとき	当日の授業すべて中止

○「南海トラフ地震に関連する情報発表」時の対応について

登校前・在宅時	登校中	在校中	下校中
通常通り	そのまま登校	通常通り	そのまま下校し

※ 状況に応じて、学校からの「きずなネット」で対応はお知らせします。

状況把握についてのお願い

非常の場合は、職員が状況把握に努めますが、広く皆様方からの情報を得たいと思いますので、危険な状況が発生したときには直ちに学校へご連絡ください。

名古屋市内で震度 5 弱以上の地震が発生した場合の対応

1 在校時に発生した時

- ・ 授業をはじめとする教育活動を打ち切る。
- ・ 学校で保護者に生徒を引き渡す。
- ・ 翌日以降、学校から連絡があるまでの間、臨時休業とする。

2 登下校の途中に発生した時

- ・ 原則としてそのまま登校させ、上記 1 と同様の措置をとる。
- ・ 下校した場合は、下記 3 に準じて措置をとる。

3 在宅時に発生した時

- ・ 学校から連絡があるまでの間、臨時休業とする。

4 稲武野外センター利用の時

- ・ 出発前に発生した場合は、出発をやめて、上記 1 の措置をとる。
- ・ 出発後に発生した場合は、的確な情報を集め、適切な措置をとる。
- ・ 利用中に発生した場合は、そのままセンター内にとどまり、所長の指示に従う。

5 修学旅行中・校外学習等の時

- ・ 出発前、解散後に発生した場合は状況に応じて上記 1～3 の措置を講ずる。
- ・ 出発後に発生した場合は、直ちに情報を集め、適切な措置をとる。

☆ 連絡は、「きずなネット」および「学校ホームページ」を中心に行う予定です。登録をお願いいたします。

南海トラフ地震に関する情報

「南海トラフ地震に関連する情報」は、南海トラフ全域を対象に地震発生の可能性の高まりについてお知らせするもので、この情報の種類と発表条件は以下のとおりです。

情報の種類	情報の発表条件
南海トラフ地震に関する情報（臨時）	○ 南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合 ○ 観測された現象を調査した結果、南海トラフ地震発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと評価された場合 ○ 観測された現象を調査した結果、南海トラフ地震発生の可能性が相対的に高まった状態ではないと評価された場合
南海トラフ地震に関する情報（定例）	○「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」の定例会合において評価した調査結果を発表する場合

- 本情報の運用開始に伴い、東海地震のみに着目した情報（東海地震に関連する情報）の発表は行っていません。
- 南海トラフ沿いで異常な現象が観測されず、本情報の発表がないまま、突発的に南海トラフ地震が発生することもあります。